

単元名:4学年 ゴール型ゲーム「フリーシュートサッカー」

単元の目標

【知識・技能】：シュートやパスなど基本的なボール操作と、ボールを持たないときに空いている場所に素早く動くことによって、易しいゲームができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】：誰もが楽しくゲームに参加できるようにルールを工夫したり、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。

【学びに向かう力・人間性等】：安全に気を付けきまりを守り、チームで協力して運動に進んで取り組み、ルールを守り誰とでも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、ゲームやそれらの練習の中で友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

単元のポイント

シュートをきめるための必要な技術（パス・シュート・ドリブル）を、簡単な練習やゲームを楽しみながら身に付けさせる。

2学年を見通した単元計画

3年生「ラインサッカー」単元計画（8時間）

1時間	2・3時間	4～6時間	8時間
<ul style="list-style-type: none"> 準備運動 3分 オリエンテーション 10分 基礎運動の確認 15分 ゲーム説明&実践 12分 振り返り 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動 3分 めあて①・活動の確認 7分 基礎運動 8分 活動の確認 3分 課題克服の練習 10分 ゲーム(ラインサッカー) 前半4分 作戦タイム1分 後半4分 振り返り 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動・基礎運動 9分 めあて①・活動の確認 7分 課題克服の練習 6分 めあて②・活動の確認 6分 ゲーム①・② 5分×2 前半5分 作戦タイム2分 後半5分 振り返り 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動 3分 めあての確認 5分 ラインサッカー大会 30分 振り返り 7分
めあて ラインサッカーのルールをおぼえよう。	めあて 基本的な技能を身に付け、かんたんな練習を楽しもう。	めあて1:2・3時間目と同様 めあて2:チームで協力して、フリーシュートサッカーを楽しもう。	めあて ラインサッカー大会を楽しもう。

4年生 単元計画「フリーシュートサッカー」(8時間)

1時間	2・3時間	4～7時間	8時間
<ul style="list-style-type: none"> 準備運動 3分 めあての確認 3分 オリエンテーション 7分 基礎運動の確認 15分 ゲーム説明&実践 12分 振り返り 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動 3分 めあて①・活動の確認 7分 基礎運動 8分 活動の確認 3分 課題克服の練習10分(練習①②、③④) ゲーム(フリーシュートサッカー) 前半4分 作戦タイム1分 後半4分 振り返り 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動・基礎運動 9分 めあて①・活動の確認 7分 課題克服の練習 6分 めあて②・活動の確認・作戦 6分 ゲーム①・② 5分×2 前半5分 作戦タイム2分 後半5分 振り返り 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動 3分 めあての確認 5分 フリーシュートサッカー大会 30分 振り返り 7分
めあて フリーシュートサッカーのルールをおぼえよう。	めあて 基本的な技能を身に付け、かんたんな練習を楽しもう。	めあて1:2・3時間目と同様 めあて2:チームで協力して、フリーシュートサッカーゲームを楽しもう。	めあて フリーシュートサッカー大会を楽しもう。

基礎運動の練習(技能向上のための時間)

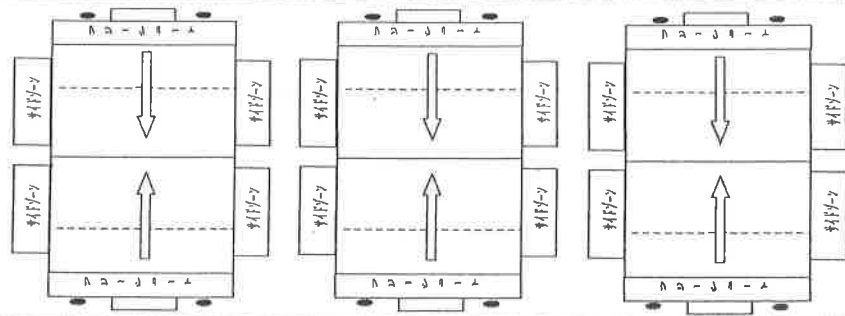
<p>【全カシュート】 2人1組で行う。 一人がゴールに向かってシュートを打ち、もう一人がシュートしたボールを拾って相手に返す。3回シュートしたら、チェンジし、これを繰り返す。 ポイント! ・立ち足はボールの横で、蹴りたい方向に立ち足のつま先を向けることを伝える。 ・つま先を下げて、けり足のこうで蹴ることを意識させる。 ・蹴るボールの位置で跳び方が違うことを伝える。 →中心付近を蹴ると強いゴロやライナーになる。</p>	<p>【ボールコントロール①】 2人1組で行う。コーンを二つ並べ、コーンを挟むように向かい合って立つ。1人がボールを投げ、もう1人がコントロールする。 ・ももで受けてキャッチする ・ももで受けて足で止める。 【ボールコントロール②】 コーンを開き(幅と距離は自分たちで決める)相手にキックでパス ・ボールの正面に動き、足で止めさせる。 ポイント! ・インサイドキックで、相手の所に届くことを優先させる。 ・立ち足は、ボールの横で足先を相手に向けて伝える。</p>	<p>【ゲートを通せ】 2人1組で行う。 ゲート(コーン)の間をパスで通つないでいく。パスをもらう人は、もらえる位置に移動しハイ!と声を出し、パスを受ける。 ・相手が取りやすいパスを意識させる。 ・広くコートを使うことを伝える。 ・ゲート数は多い方が楽しさが増す。 ・2個のゲートを1回で通すのもありとする。 ・コーンに当てず、連続5回通してみよう!などの声かけをすると楽しさや正確さが増し、更に正確性が要求される。 ポイント! ・2個のゲートを1回で通したペアをほめることで、難度を高め、挑戦する意識を高める。 ・声かけで移動が速くなることに気づかせる。</p>
---	--	--

チーム練習(チームの課題克服のための時間)

<p>【ハイハイ!パス!】 練習①: 声を出してパスをもらう。</p>	<p>【とったら前に走るぞ!】 練習②: 空いたスペースをせめる。</p>	<p>【ねらってシュート!】 練習③: ゴールをよく見てシュートを決める。</p>	<p>【サイドマンいいね!】 練習④: サイドマンを上手に使う。</p>
--	--	--	---

場の設定

・児童の運動量を確保するために3面のコートを設置する。フリーシュートゾーンは3mとする。ゾーンのスペースを広くとることで、パスを出しやすい、シュートをうちやすいという利点がある。



ゲームの流れ

4～7時間には、毎回ゲームを1試合する。ゲームを通してチームの課題を確認し、課題を改善するため必要なことを考えさせ、次時の練習を選ばせる。これを繰り返すことで、課題→改善→スキルアップを図る。

指導のポイント

【知識及び技能】

ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、コート内で攻守入り交じって、シュートしたり、空いている場所に素早く動いたり、得点ゾーンに走り込む等の易しいゲームをすること。

・基本的なボール操作のためにパス、シュート、ドリブルといった基本的な技能の仕方を教えることが必要。そのために簡単な基礎運動の時間を設定する。また、それらの技能を試合で活用するためのチーム練習の時間も設定する。

【思考力、判断力、表現力等】

ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。

・チームの課題を克服するための練習メニューに名前をつけることで、児童の興味関心を高める。「ハイハイ！パス！」「とったら前に走るぞ！」「ねらってシュート！」「サイドマンいいね！」等、どんな練習なのか分かりやすい名前をつけ、練習内容もシンプルなものにすることで児童が取り組みやすいようにする。また、課題→練習→作戦と結びつけることで、改善のために必要なことが何か考え練習を選ばせる手段とする。

【学びに向かう力、人間性等】

運動に進んで取り組み、規則を守り誰とも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

・ボール運動はチームで行うため、個人での練習ではなく、ペアで取りまかせ教え合いながら進める。

授業の工夫

- ①ルールが単純でわかりやすい。
- ②痛い・怖い思いをさせない。
- ③技能がなくてもゲームに参加できる。
- ④ボール操作が簡単である。
- ⑤ボールを持たないときの動きを意識しやすい。
- ⑥シュートする回数が多く、得点を決める喜びを味わいやすい。

【ルールの工夫】

・ルールの簡易化

→複雑なルールでは十分に楽しむことができない。そのため、フリーシュートゾーン（ディフェンスが入れない場所）を設定し、自由にシュートができるようにした。また、サイドからボールを転がしパスをする「サイドマン」を置くことで数的優位を作り、技能がなくても参加しやすく、攻めやすい形を作ることができる。得点もミニゴールの横（1mの位置）に2本コーンを置き、ゴールゾーンを広く取った。（ミニゴールとに決めると2点、コーンとの間は1点）

【道具の工夫】

・新聞紙ボール

→通常のサッカーボールではボールの操作が難しく、また「当たると痛い」「強く蹴ると痛い」等、恐怖心が先行してしまい伸び伸びとプレイできないことが多い。そこで手作りの新聞紙ボールを作り、安心・安全なボールを使用することにした。簡単に作れるため、ボールが少なく練習できない等の課題もクリアできる。

【評価の視点】

①知識及び技能（巡視・ワークシート）

B規準…空いているところを見つけ、パスを出したり、シュートすることができる。

A規準…空いているところを見つけ、ねらったところにパスを出したり、シュートすることができる。

②思考力・判断力・表現力（巡視・ワークシート）

B規準…攻め方や守り方を工夫したり、練習（作戦）を選んだりしている。

A規準…自己やチームの特徴を踏まえた攻め方や守り方を工夫したり、練習（作戦）を選んだりしている。

③学びに向かう力・人間性等（巡視・ワークシート）

B規準…安全に気を付けて、友達と協力してフリーシュートサッカーに取り組んでいる。

A規準…安全に気を付けて、積極的に友達と協力してフリーシュートサッカーに取り組んでいる。

重点評価【学びに向かう力・人間性等】：安全に気を付け、きまりを守りチームで協力して運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。

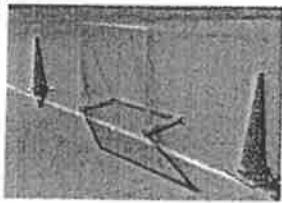
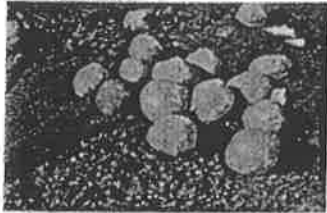
第1時

	学習活動	具体的内容	留意点・準備	
はじめ 6分	1. 準備運動	○ジンギスカン体操	☆ペア・チームで協力して練習やゲームに取り組み、規則を守り誰とでも仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。	
	2. めあての確認	○全体のめあてを確認する。		
めあて：フリーシュートサッカーのルールを覚えよう。				
なか 34分	3. オリエンテーション	○学習の流れを確認する。 準備運動→めあての確認→基礎運動→練習→試合→振り返り	☆基礎運動の場で、運動の仕方を確認する。 ☆基礎運動を実際にさせ、やり方を覚えさせる。	
	4. 基礎運動	○基礎運動の内容確認 【全カシュート】 【ボールコントロール①】 【ボールコントロール②】 【ゲートを通せ】		☆パス・シュート・トラップ・ドリブルの仕方をおさえる。 ・インサイドキック ・インステップキック等 ☆実際に運動をさせた後、疑問に思ったことをもとに全体で共通確認する。
	5. フリーシュートサッカーゲーム	フリーシュートサッカーの説明 ・ゲームに臨む心構え ・ルールの確認 ・攻撃・守備のルール ・セルフジャッジの仕方		☆実際にゲームをさせた後、疑問に思ったことをもとに全体で共通確認する。
おわり 5分	6. 振り返り	○困ったことの確認 基礎練習について ゲームについて ルールの変更 ○児童の振り返り ○教師のアドバイス	☆感想やわかったこと、できるようになったこと等を発表させる。	



重点評価【知識及び技能】：シュートやパスなど、基本的なボール操作とボールを持たないときに空いている場所に素早く動くことによって、易しいゲームができる。

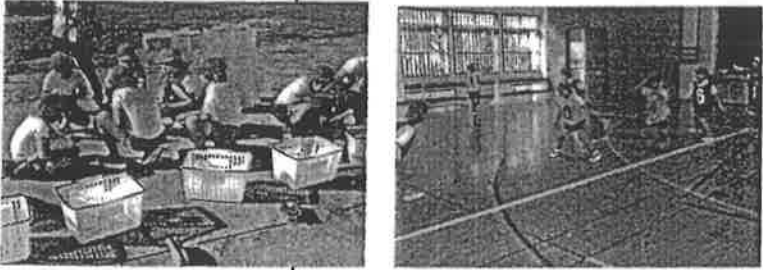

第2・3時

	学習活動	具体的内容	留意点・準備
はじめ 10分	1. 準備運動	○ジנגスカン体操	☆音楽に合わせて楽しく準備体操をさせ、授業に向かうための楽しい雰囲気を作る。
	2. めあて①の確認	○全体のめあてを確認する。	
めあて①：基本的な技能を身に付け、かんたんな練習を楽しもう。			
なか① 8分	3. 基礎運動	○基礎運動の仕方を確認しながら、アドバイスをしていく。 ・ボールコントロール① ・ボールコントロール② ・ゲートを通せ ・全カシュート	☆児童のスキルアップに応じためあてを立てる。 ☆上手い児童のプレイを全体で確認する。
なか② 22分	4. 課題克服の練習の確認	○課題克服の練習の内容確認。 練習①：ハイハイ！パス！ 練習②：とったら前に走るぞ！ 練習③：ねらってシュート！ 練習④：サイドマンいいね！ ※2時間目に練習①②をおさえる 3時間目に練習③④をおさえる	☆練習の仕方を確認する。 ☆練習の意図を伝え、課題→練習→作戦と結びつけることで、課題改善のために必要なことが何か考えさせる。 ☆練習を実際にさせ、やり方を覚えさせる。
	5. 活動の確認	○疑問点を全体で話し合う。 ○練習の様子から良かったチームや児童を取り上げ、紹介する。	☆実際に運動をさせた後、疑問に思ったことをもとに全体で共通確認する。 ☆良いチームや児童を参考に促す。
	6. フリーシュートサッカーゲーム	○前半Aチーム、後半Bチームの2チームの合計をチームの得点とする。 前半（4分）→作戦タイム（1分） →後半（4分）	☆ゲームに参加していない児童や、うまくいっていないチームは、随時声をかける。 ☆作戦タイムでは、チーム全員がゲームに参加できることを前提で考えさせる。
			
おわり 5分	7. 振り返り	○困ったことの確認 基礎練習について ゲームについて ルールの変更 ○児童の振り返り ○教師のアドバイス	☆感想やわかったこと、できるようになったこと等を発表させる。 ☆上手いプレイや友達への励ましなど、褒める・認める行動をした児童を取り上げ、賞賛する。

本時案

重点評価(思考力・判断力・表現力):誰もが楽しくゲームに参加できるようにルールを工夫したり、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた、簡単な作戦を選んだいすることができる。

第4～7時

	学習活動	具体的内容	留意点・準備
はじめ 3分	1. 準備運動	○ジンギスカン体操	☆音楽に合わせて楽しく準備体操をさせ、授業に向かうための楽しい雰囲気を作る。
なか① 13分	2. 基礎運動 3. めあて①の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールコントロール② ・ゲートを通せ ・全カシュート 	☆基礎運動全てを行うと時間がないので、児童の実態に応じてスキルアップが必要な取り組みを選択する。
めあて①: 基本的な技能を身に付け、かんたんな練習を楽しもう。			
	4. 課題克服の練習の確認 5. めあて②・活動の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○チームの課題に合わせて、練習を選ぶ。 ○めあて②を確認する ○練習の様子から良かったチームや児童を取り上げ、紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆これまでの練習や試合の内容を想起させ、チームとの課題から練習を選ばせる。 ☆練習(作戦)をゲームに活かすことを確認する。
めあて②: チームで協力して、フリーシュートサッカーゲームを楽しもう。			
なか② 24分	6. フリーシュートサッカーゲーム <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム① ・作戦タイム ・ゲーム② 	<ul style="list-style-type: none"> ○前半Aチーム、後半Bチームの2チームの合計をチームの得点とする。 前半(5分)→作戦タイム(2分)→後半(5分) チーム全員がシュートを決めたら5点プラスされる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆個人ではなく、全員がゲームに楽しく参加するために必要なことを伝える。 ☆ゲームに参加していない児童や、うまくいっていないチームは、随時声をかける。 ☆作戦が成功したチームを賞賛する。得点をいれた場合は、帽子の色を変えさせる。全員が得点を入れたときの目印とする。
			
おわり 5分	6. 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○困ったことの確認 ○教師のアドバイス ○児童の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ☆困ったことを確認する。 ☆わかったことやできるようになったこと、次取り組みたいことなどを発表させる。 ☆上手いプレイや友達への励ましなど、褒める・認める行動をした児童を取り上げ、賞賛する。
			

重点評価[思考力・判断力・表現力]:ルールを工夫したり、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。

第8時

	学習活動	具体的内容	留意点・準備
はじめ 3分	1. 準備運動	○ジンギスカン体操	☆音楽に合わせて楽しく準備体操をさせ、授業に向かうための楽しい雰囲気を作る。
なか 37分	2. めあての確認	めあて：フリーシュートサッカー大会を楽しもう。	
	3. フリーシュート サッカーゲーム大会	6チームの総当たり戦 1チーム6名 攻撃は前半3名、後半3名 前半Aチーム、後半Bチームの2チームの合計をチームの得点とする。 前半(5分)→作戦タイム(2分) →後半(5分) チーム全員がシュートを決めたら5点プラスされる。 コートに入らない児童も、サイドマン2名。もう1名は、得点板係として参加する。	☆教師は巡視し、児童・チームの動きを観察しながら、アドバイスする。 ☆リーグ戦用の表を用意しスムーズにゲームが行えるようにする。
おわり 5分	4. 振り返り	○困ったことの確認 ○教師のアドバイス ○児童の振り返り	☆感想やわかったこと、できるようになったこと等を発表させる。 ☆上手いプレイや友達への励ましなど、褒める・認める行動をした児童を取り上げ、賞賛する。



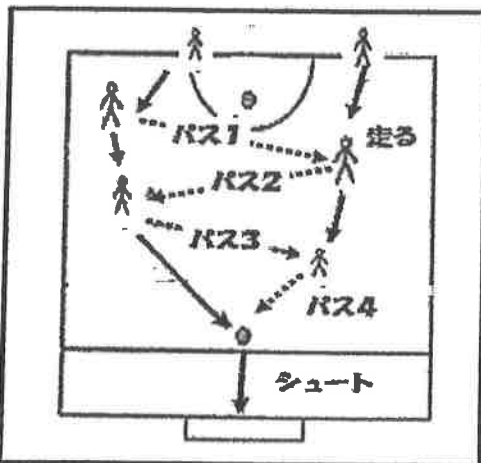
チーム練習カード

※練習は、自分たちのチームに必要なものを考えて取り組みます。ゲームや練習の中で、課題をみつけて、上手になるための練習を選んでください。

チーム練習① ハイハイ！パス！

作戦：声をだしてパスをつまぐ。

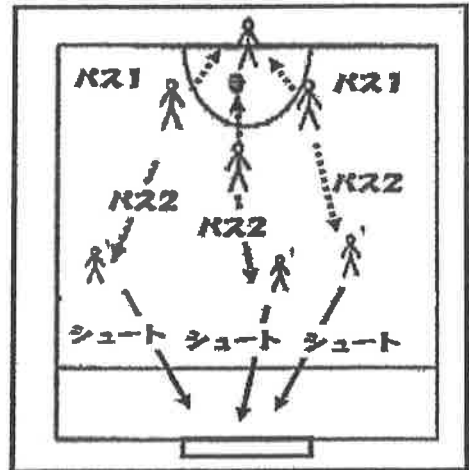
- 【大切】
- 1 名前を呼んで、相手にパスを出す。
 - 2 もらったときはハイ！と大きい声を出す。
 - 3 正確にパスをまわす。
 - 4 パスを繰り返し、シュート



チーム練習② とったら前に走るぞ！

作戦：空いたスペースをせめる。

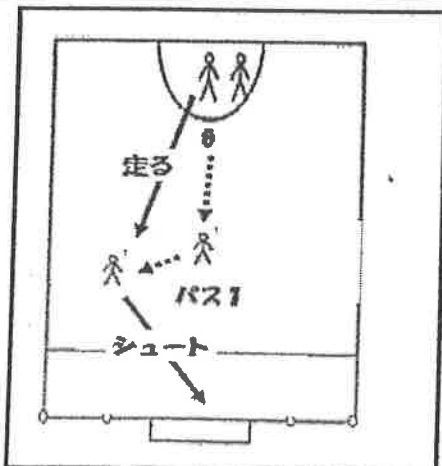
- 【大切】
- 1 名前を呼んで、フリーシュートゾーンをのけてパスを出す。(とりやすいパス)
 - 2 正確なパスを出す。
 - 3 空いたスペースを使い、前に走りこむ。
 - 4 声を出してもらう。(ハイ！)



チーム練習③ ねらってシュート！

作戦：ゴールをよく見てシュートを決める。

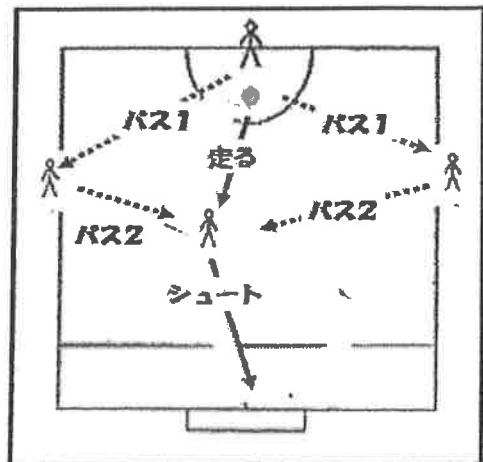
- 【大切】
- 1 名前を呼んで、相手の先にパスを出す。(とりやすいパス)
 - 2 逆サイドに走りこむ。
 - 3 正確にパスを出す。
 - 4 ボールをしっかりととめ、ねらった所にシュート。



チーム練習④ サイドマンいいね！

作戦：サイドマンをうまく使う。

- 【大切】
- 1 サイドマンにパスをだす。
 - 2 前に走りこみ、声を出してもらう。(ハイ！)
 - 3 サイドマンは定めにボールを動かす。(正確)
 - 4 ボールをしっかりととめ、姿勢を整える。
 - 5 ねらった所に、力強くシュート。





フリーシュートサッカー 学習カード①

月 日 年 組 名前 ()

めあて①

基本的な技能を身に付け、かんたんな練習を楽しもう。

チームのめあて

～したい(課題) そのために～します。(方法)

自分でのめあて

～したい(課題) そのために～します。(方法)

課題・練習に選んだものに○をします。

課題

パス・シュート

練習

【パス】

- ①ハイハイ!パス!
- ②とったら前に走るぞ!

【シュート】

- ③ねらって、シュート!
- ④サイドマンいいね!

◎…たいへんよい, ○…よい, △…もう少し

パス

相手の前に出す

空いたスペースでもらう

相手を取りやすいパスを出す(サイドマン)

声を出してもらう

シュート

ねらったところにける

力強くける

評価

忘れものをせず、進んで運動に取り組むことができた。

ルールやマナーを守り、はげまし合って練習やゲームをすることができた。

上手くできるにはどうするか考えたり、作戦を選んだりすることができた。

サッカーの動き(パス・シュート・ドリブル)が上手にできた。

【うまくいったこと・学んだこと・できるようになったこと】

振り返り



フリーシュートサッカー 学習カード②

月 日 年 組 名前 ()

めあて①

基本的な技能を身に付け、かんたんな練習を楽しもう。

チームのめあて

～したい(課題) そのために～します。(方法)

自分あてのめあて

～したい(課題) そのために～します。(方法)

課題・練習に選んだものに○をします。

課題

パス・シュート

練習

【パス】

- ①ハイハイ!パス!
- ②とったら前に走るぞ!

【シュート】

- ③ねらってシュート!
- ④サイドマンいいね!

めあて②

チームで協力して、フリーシュートサッカーゲームを楽しもう。

◎…たいへんよい, ○…よい, △…もう少し

パス

相手の前に出す

空いたスペースでもらう

相手を取りやすいパスを出す(サイドマン)

声を出してもらう

シュート

ねらったところにける

力強くける

評価

忘れものをせず、進んで運動に取り組むことができた。

ルールやマナーを守り、はげまし合って練習やゲームをすることができた。

上手くできるにはどうするか考えたり、作戦を選んだりすることができた。

サッカーの動き(パス・シュート・ドリブル)が上手にできた。

【うまかったこと・学んだこと・できるようになったこと】

振り返り